

## 第2期港南区地域福祉保健計画

### 「一人ひとりがつながり、お互いに支えあえるまちをめざして」

は、いつまでも安心して暮らせるまちづくりのための指標です。現在、計画で定められた8つのテーマに沿った取組を進めています。

## 8つのテーマ

### 地域全体テーマ

テーマ1 活動の周知・情報共有

テーマ2 活動のネットワークづくり

テーマ3 担い手・人材の発掘

テーマ4 地域のつながり・交流の場づくり

### 分野・対象者別テーマ

テーマ5 健康づくり

テーマ6 地域で高齢者の支援

テーマ7 地域で障害児・者の支援

テーマ8 地域で子育て支援・青少年育成

今回は、この8つのテーマのうち、「テーマ2・活動のネットワークづくり」「テーマ5・健康づくり」「テーマ7・地域で障害児・者の支援」の取組を紹介します。



## テーマ2 活動のネットワークづくり

### 「防災訓練で強まった地域のつながり ～丸山台小学校地域防災拠点～」

10月30日に丸山台小学校地域防災拠点で行われた防災訓練に、港南区災害ボランティアネットワーク(以下、災ボラネット)が参加しました。災ボラネットとは、大規模災害が起こった時に、“支援を必要とする被災者”と“他地域から来るボランティア”をつなぐ役割を果たす仕組みです。災ボラネットのメンバーは日頃から、

この目的のための研修や訓練を重ねており、丸山台小学校での防災訓練に参加したのもその一環です。

当日は、災ボラネットの活動を周知する寸劇を、災ボラネットのメンバーと防災訓練参加者が一緒に演じるなど、分かりやすいPRを行っていました。

また、防災訓練には丸山台中学校の生徒も参加し「中学生である自分たちが災害時にできることは何か」といったことを考えながら真剣な面持ちで訓練にのぞんでいました。

大規模災害の発生など、いざという時に力を発揮するのが「地域のつながり」です。地域のつながりを強め、さらに災ボラネットとのつながりを作ることができた今回の訓練、とても有意義なものだったのではないのでしょうか。



丸山台小学校での訓練には中学生も毎年参加し、地域の一員として活躍しています!



### 災ボラネット★よろしくお願ひします!

【問合せ:港南区社会福祉協議会(Tel841-0256、Fax846-4117)】

- 今回、丸山台小学校の防災訓練で活躍した災ボラネット。現在会員募集中です。「自分に何ができるのか不安」「災害時は大変そう・・・」と考える方も多いと思いますが、災害時には少しでもいいから自分にできることをすることが大事です。ぜひ一緒に考え、活動してみませんか。

- 各地で行う防災訓練に呼んでください!災ボラネットを有効なものにするために自治会・町内会・地域防災拠点と顔の見える関係づくりを進めていきたいと思っています。たくさんの方に災ボラネットを知ってもらい、関わっていただくことを期待しています。

## テーマ5 健康づくり

# 「Yコラボ“からだ元気 こう・なん・くう” ～身近な場所で健康づくりの啓発を」



ひまわり健康手帳をつかって健康チェック。ひまわり健康手帳は区役所健康づくり係で配布しています。

皆さんは自分の健康管理、しっかりできていますか?必要だとは分かっているがなかなかできないこと...ですね。しかし、これで引き下がっては自分たちの名がすたる、と活躍しているのが“保健活動推進員”と“食生活等改善推進員”です。「若い人たちにも健康づくりに興味を持ってもらいたい」「食生活の大事さをもっと知ってもらいたい」といった健康づくりに対する強い思いから、区役所と一緒に健康づくりイベントを開催しています。そして会場に選んだのが、たくさんの区民が買い物に来るスーパーマーケット。9月10日・11日にはイトーヨーカドー上大岡店のご協力のもと、健康づくりイベントを開催し(何をやったかは、下の記事を見てください!)、2日間で1000人近い方に足を運んで頂くことができました。これからも様々な団体等と協力して区民の食生活と健康を守ってくれることまちがいなしですね。



野菜当てクイズの様子。  
見たこともない野菜がたくさん

### ★保健活動推進員★

保健活動推進員は、各町内会からの推薦を受けた委嘱委員として活動しており、生活習慣病の予防や健康づくりのために、健康教室やウォーキング、研修会などを開催しています。今年の健康づくりイベントでは、健康チェックコーナーで、血圧・握力・肺活量・体脂肪量の測定などを行いました。



ただいま健康  
チェック中...  
はたして結果は?

### ★食生活等改善推進員★

愛称は“ヘルスマイト”。「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、「栄養・運動・休養」を3本柱にすえ、食育講座、男性向け料理教室、高齢者の昼食会、骨粗しょう症の予防啓発などの活動をしています。健康づくりイベントでは、珍しい野菜の名前を当てる食育クイズや野菜レシピのプレゼントなどを行いました。



## テーマ7 地域で障害児・者の支援

# 「充実した夏休みを過ごそう!



## ～こうなんなつっこ【学齢障害児夏余暇支援事業】



暑い夏もプールで乗り切ろう!

普段は特別支援学校や個別支援級に通学している障害のある子どもたち。夏休みがあるのも一般の小中学校と同じですが、障害のある子にとって休み中に友達同士で遊びに出掛ける、といったことはなかなか難しいのが現状です。そのため夏休み中は家にいることが多くなったり、外出する時も親子で常に一緒だったり。

親にとっても、どこでも一緒に自由な時間がないことは大変な負担になっています。

そこで、障害児の親子がいつもとは違う人間関係の中で遊んだり話したり触れ合ったりすることで充実した夏休みを過ごしてもらおうと行っているのが、「こうなんなつっこ」です。毎年1週間程度、港南台ひの特別支援学校を会場に工作や和太鼓、プールなどのプログラムを実施しています。また、今年は野庭地域ケアプラザでも調理やリトミックなどを行いました。

この「こうなんなつっこ」を支えているのが、高校～大学生を中心とした地域のたくさんのボランティアの皆さんです。さらにボランティアの活動を支援しているのが主催者である港南区社会福祉協議会(以下、区社協)です。区社協では、ボランティアが不安を感じることなく思いっきり活動できるよう、顔合わせや説明会などの事前準備を十分に行っています。そのおかげもあって、なつっこで活躍するボランティアは定着率が高いことが特徴です。実際に活動したボランティアの方からも「申し込んだときは不安だったが、当日は自分も楽しめた、また来年もやりたい!」といった声も聞かれました。



野庭地域ケアプラザでのリトミックの様子



企画運営には保護者をはじめ、近隣の特別支援学校、療育センター等の職員も協力してくれました

なつっこに申し込む障害児の親子は年々増えており、残念ながら定員オーバーのため参加できない方もいます。子どもたちが夏休みに元気に遊ぶ!という、あたりまえのことに実現するために、たくさんのボランティアや団体の皆さんの協力をお待ちしています、もちろん区社協も皆さんの活動を一生懸命支えていくつもりです。